# 令和4年度 決算のご報告

#### 水道事業会計 水をお届けするための 水道施設を整備するための 費用とその財源(税抜) 費用とその財源(税込) (収益的収支) (資本的収支) 維持管理費 施設整備のための借入金 14億1,400万円 26億6.800万円 15億5,700万円 水道料金 給水申込者からの 工事負担金など 51億6,900万円 減価償却費 3億1,700万円 23億6,200万円 支出 48億 '.400万円 5.000万円 減価償却による 内部留保資金など 30億1.500万円 借入金利息 4億3,500万円 借入金元金返済 21億8,200万円 5億6,300万円 その他 2億9.600万円 当年度純利益 ※施設を整備するための収入には、令和5年度の繰越工事資金 6億9,100万円 3,900万円が含まれており、令和5年度の支出の財源となります。

#### 下水道事業会計 下水を処理するための 下水道施設を整備するための 費用とその財源(税抜) 費用とその財源(税込) (収益的収支) (資本的収支) 施設整備費 維持管理費 施設整備のための借入金 27億3,100万円 30億6.300万円 25億5,800万円 下水料金 58億9,400万円 国や他会計からの 補助金など 14億4,400万円 200万円 減価償却費 **82**個 78億 **74**@ 37億9,400万円 2.300万円 6.300万円 9,300万円 減価償却による 借入金元金返済 内部留保資金など 44億3,000万円 35億3,200万円 借入金利息 7億4.300万円 負担金・補助金など 23億6,900万円 その他 当年度純利益 5億5,500万円 ※施設を整備するための収入には、令和5年度の繰越工事資金 4億4.000万円 4.100万円が含まれており、令和5年度の支出の財源となります。

#### 令和4年度 上下水道事業決算より

#### 安全・安心・快適な生活を支えるため

# 主要事業についての紹介

### 🏠 本荘配水池の耐震補強工事

本荘水源地は、2つの配水池に建 築物が付随した複合的な構造のコ ンクリート造りの建物です。耐震診 断の結果、配水池部分が耐震強度 不足だったため、耐震化します。

令和4年度は東側配水池の耐震 補強工事を実施しました。



決算額 9,810万円

### 🏠 鏡岩水源地管理棟の改築工事

令和3年度より実施している鏡岩 水源地管理棟の改築工事につい て、令和4年度も引き続き新管理 棟の建築工事を実施しました。



決算額 6,810万円

## 水道管の更新

水道水の安定供給を続けていく ため、老朽化した水道管を計画的 に更新し、災害に耐えうる水道管 網を作っています。

◆実施箇所

鏡岩配水幹線など…約22km(全て耐震管)



決 算 額 18億5.590万円

#### 方県加圧施設の建設工事

老朽化する施設の増加や水需要の減少に対応した適 正な施設規模による水道事業を運営していくため、水 源地の統廃合を進めています。 統廃合の一環として、 比較的規模の小さい方県配水区域と佐野配水区域を 雄総水源地の配水区域に統合し、老朽化し耐震性の ない既設の方県水源地と石谷加圧施設の機能を集約

した方県加圧施設を新 設します。

令和4年度は施設建設 のための用地買収と設 計を実施しました。





## 下水道管の更新

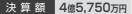
長期的な視点で下水道施設全体の今後の老朽化の進 行状況を考慮し、リスク評価等による優先順位付けを 行った上で作成した「下水道ストックマネジメント計 画」に基づき、老朽化した下水道管を災害に強い管に

#### 更新しています。

◆ 実施箇所

中部処理区…約3.0km

管更生工法とは・・・ = 既設の管の内面に樹脂等で 新しく管を形成する工法で、 道路を掘って管を入れ替える 工事よりも短期間で、費用も安 く施工できるメリットがあり







### 雨水排水路の整備

市街地の浸水被害を軽 減するため、排水路の整 備を行っています。

◆ 実施箇所

千石今泉排水路など …274mの区間



決算額 3億4,290万円

# 🌣 🗘 下水道施設・設備の改築・更新

下水道ストックマネジメ ント計画に基づき、老朽 化した下水処理場等の改 築、更新を行っています。

◆ 実施箇所

南部プラントの受変電 自家用発電設備の改築など



決算額 14億7,770万円